

Spring-8に 専用ビームラインを

17の企業グループ 産学連合体を結成

高輝度光科学研究センターの大型放射光施設「Spring-8」に専用のビームラインを建設するため、旭化成やキヤノンなど17の企業グループが産学連合体を結成した。強力なビームを使って原子・電子レベルの構造解析などに応用、新素材の開発に役立てるもので、4月以降に建設を開始する。稼働は09年夏を予定。運営費を含み事

業費は10年間で10億円を計画している。企業専用ではなく産学専用のビームラインはSpring-8で初めてという。

連合体の代表には住友化学の岡田明彦筑波研究所グループマネージャーが就任した。また、運営や研究戦略にアドバイスをを行う学術諮問委員会も併設した。各グループには共同研究者として大学の研究者がそれぞれ参画している。関西学院大学は企業グループの一員として加わり、研究者の人材育成を主に行う。

連合体に参画する企業グループは次の通り。

▽旭化成▽関西学院大学▽キヤノン▽クラレ▽昭和電工▽住友化学▽住友ゴム工業▽住友ベークライト▽東レ▽デンソー▽東洋紡▽日東電工▽ブリヂストン▽三井化学▽三菱化学▽三菱レイヨン▽横浜ゴム

H20.2.18

日刊工業新聞

(科学技術・20面)